

2 次元バーコードリーダー MD620 プログラミングマニュアル セットアップ手順 Ver2.00

—QR コードで日本語読み取り設定—

●目的

本書では QR コードの 2 バイト文字（日本語）の読み取り設定を行います。

※日本語コードを読まない場合設定は不要です。

●準備するもの

- ・セットアップディスク
- ・パソコン（USB ポートを搭載したもの）

設定手順 1

1. PC とバーコードリーダーを接続し CD をパソコンにセットします。

2. 下の初期化コードを読み取ります。



3. 下の「VirtualCOM」を読み取ります。



設定手順 2

4. 図 1 のように表示されたら「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し次を選びます。

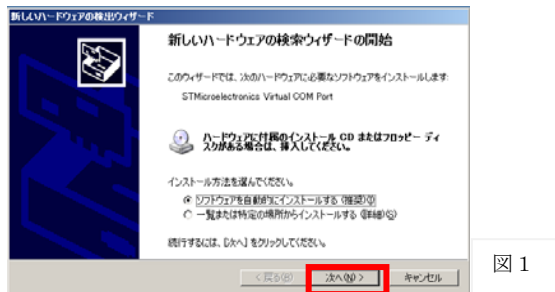
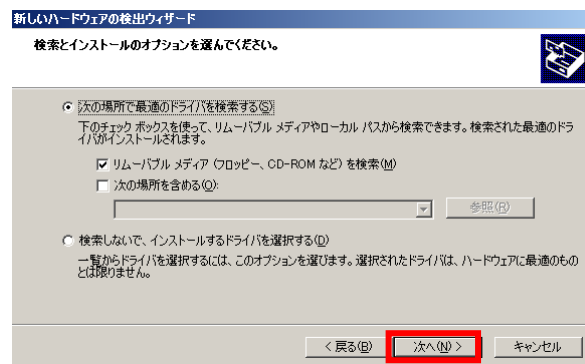


図 1

5. 下記のように表示されたら CD-ROM を検索・又は「USBVCOMdriver」フォルダを選択してください。



6. インストールが終了したら完了を押します。
※失敗した場合はトラブルシューティング Q5。
Windows8 以上の場合には先に Q6 を参照してください。



設定手順 3

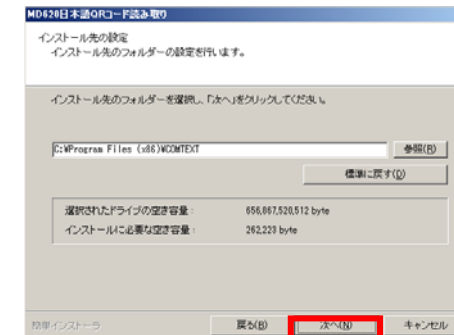
7. CD を開き「VCOM. exe」をダブルクリックします。



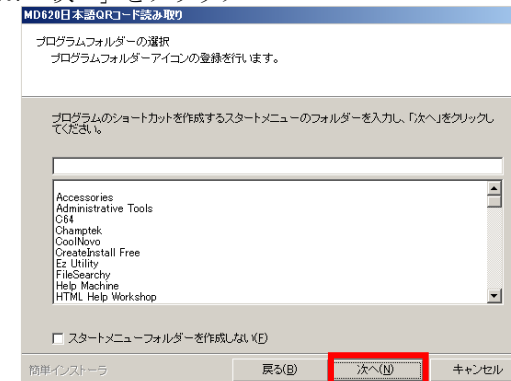
8. 「次へ」をクリック。



9. 「次へ」をクリック

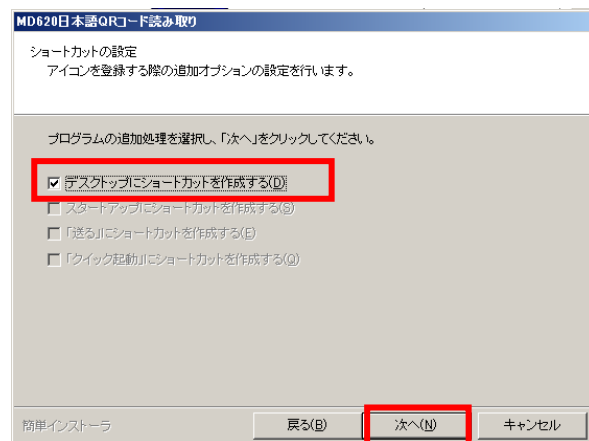


10. 「次へ」をクリック

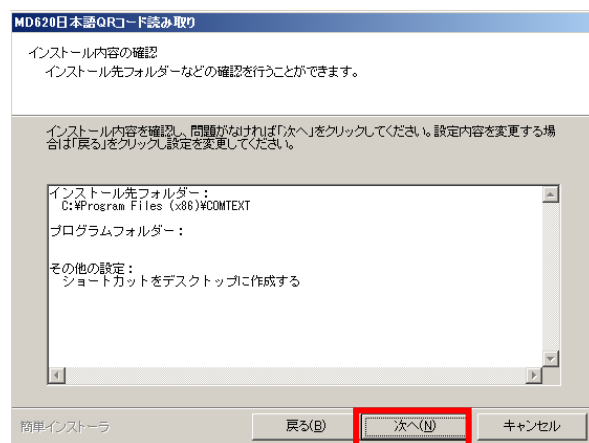


設定手順 4

11. 「デスクトップにショートカットを～」の項目はチェックを入れるとデスクトップにソフトアイコンが出来ます。
必要に応じてチェックをして「次へ」をクリック

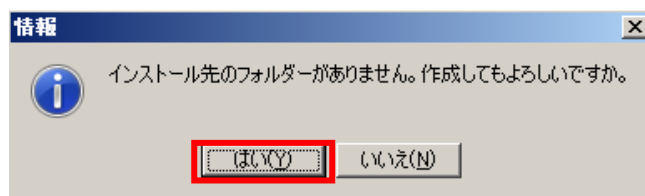


12. 次へをクリック。

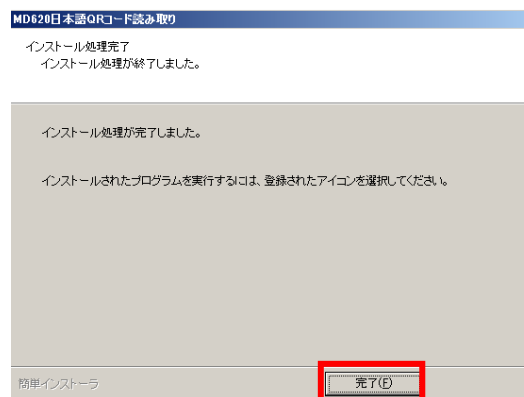


設定手順 5

14. はいをクリック。

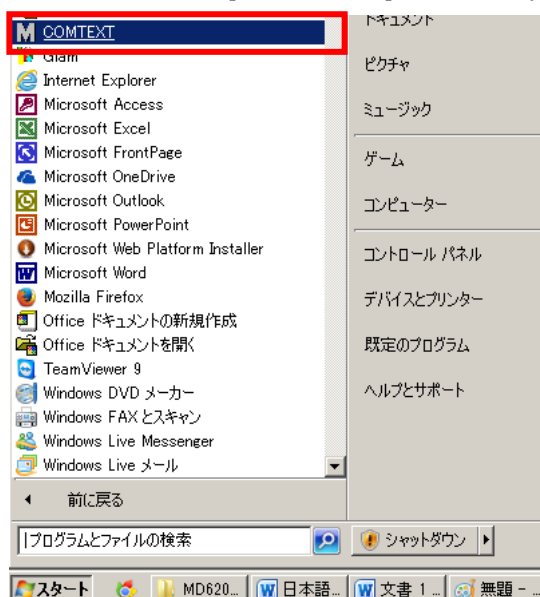


16. 完了をクリックしインストール完了です。

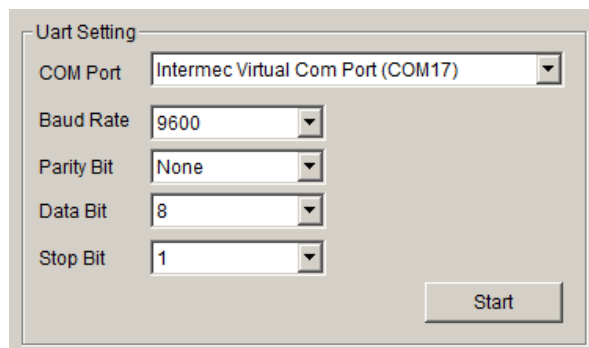


設定手順 6

17. 「スタート」又は「Windows アイコン」より「すべてのプログラム」→「COMTEXT」を開きます。

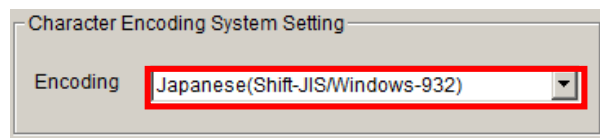


18. 「Uart Setting」を設定します。
COMPort を「Intermec〜〜〜」にします。
その後、BaudRate より下は画像に合わせて設定します。
BaudRate : 9600 ParityBit : None
DataBit : 8 Stop Bit : 1



設定手順 7

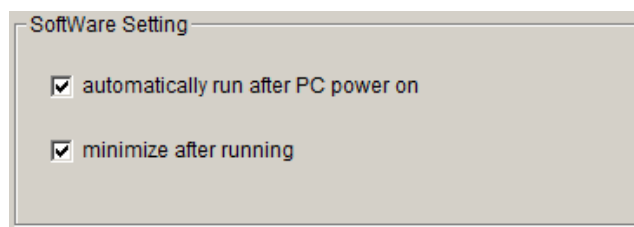
19. 「Character Encoding〜」を「Japanese」にします。



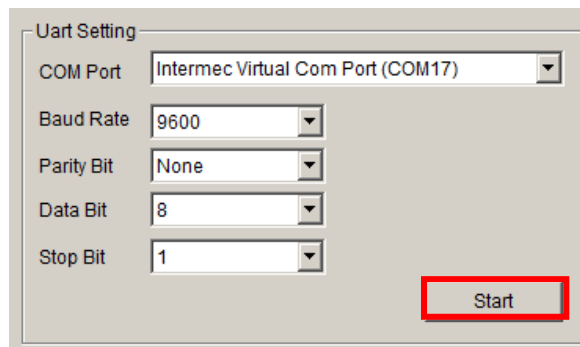
※お使いの QR コードによって「UTF-8」や「ASCII」に調整が必要な場合があります。

20. 「SoftWare Setting」は環境に合わせて調節します。

- automatically run after PC power on
PC 起動時に自動でソフトを起動します。
- minimize after running
ソフトを起動した際に最小化した状態で起動します。

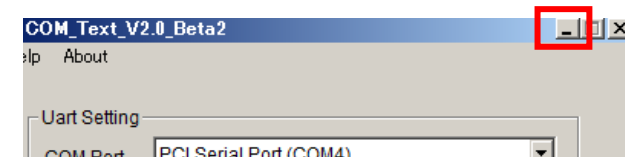


21. 「スタート」を押して通信を始めます。



設定手順 8

22. 「最小化ボタン」を押します。



23. メモ帳などを開き下記のバーコードを読み取ります。



24. 下記のように日本語文字が読み取れたら設定完了です。



※注意・2回目以降の起動について

- パソコンをシャットダウンした後は設定手順 6 (P3) のようにして再度ソフトを開いて設定してください。
- USB 延長ケーブルを使用している際はケーブルの大元から抜いて設定をしておしてください。
- その他問題がありましたら別紙のトラブルシューティングを参照してください。

トラブルシューティング

Q1. 設定をしてもうまく日本語の QR コードを読み取れない

A1. 以下の点が考えられます。

- ・ソフトを起動していない。
設定手順 6 (P3) を見てソフトを起動させてください。
- ・手順 4 の 6 のデバイスマネージャーで「Intermec〜〜」が無い。
設定がリセットされた可能性があります。
手順 1 からもう一度確認して試してください。
- ・QR コード読み取り設定が OFF になっている。
初期化後は QR コード設定が OFF になっています。
手順 6 の 10 を参考に QR コード読み取り設定を ON にしてください。

Q2. 一度設定が出来たのに 2 回目以降が読み取らない

A3. 一度、バーコードリーダーを抜いて 6-2 よりお試しください。

注：USB 延長ケーブルを使用している際は延長ケーブルの大本を抜いてから設定をしておしてください。

Q4. 読み込んだデータが文字化けしてしまう。

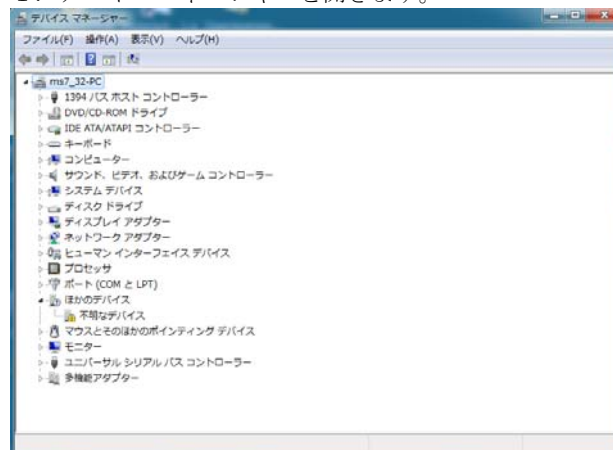
A4. お使いの環境によって文字コード設定が異なります。
手順 7-2 を参考に設定を変更してみてください。

トラブルシューティング 2

Q5. ドライバのインストールがうまく出来ない。
不明なデバイスと表示されてしまう。

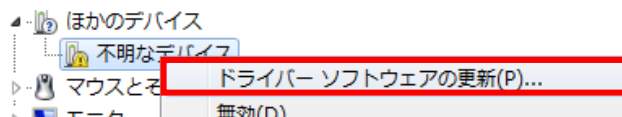
A5. 下記の方法でインストールを再度実行してみてください。

1. デバイスマネージャーを開きます。



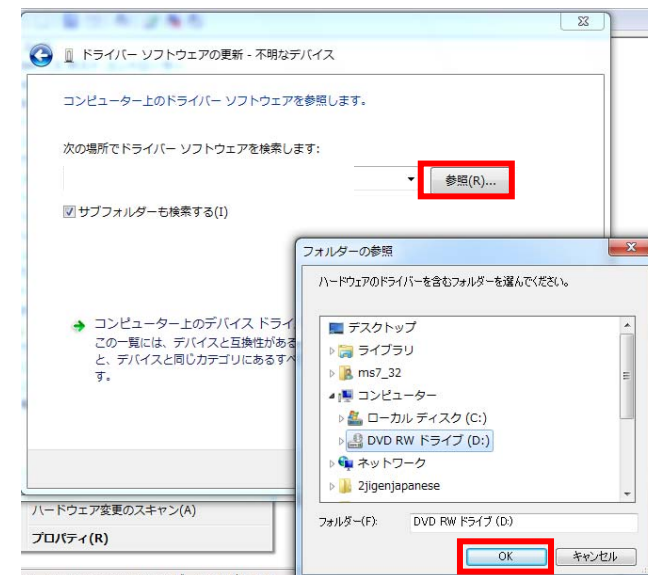
2. 「不明なデバイス」又は「ED40」を右クリックをして「ドライバーソフトウェアの更新」を選択します。

「※ED40」がある場合、そちらを右クリックします。



トラブルシューティング 3

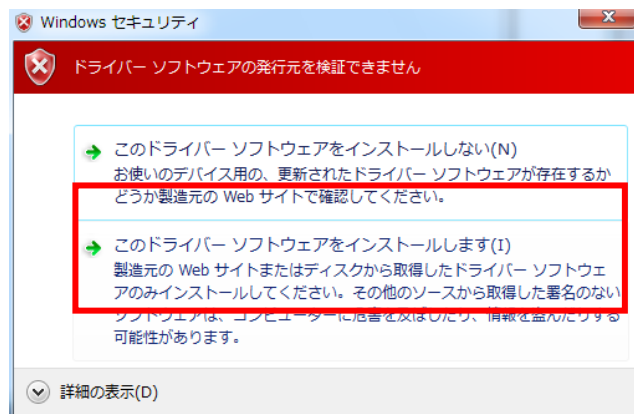
3. 「ドライバーソフトウェアを参照します」をクリックし参照→セットアップディスクを入れている場所を指定します。



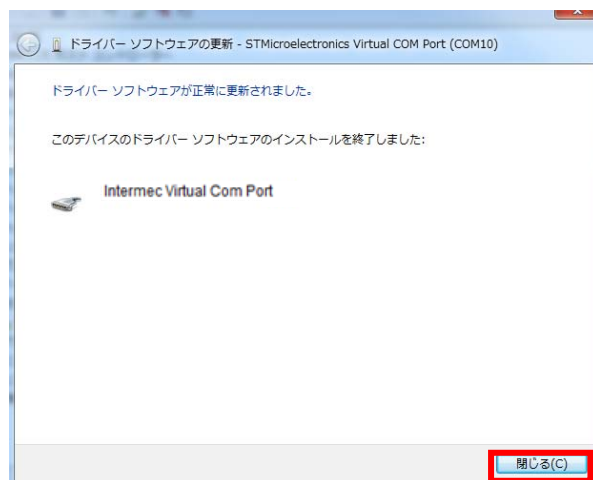
※フォルダを指定してくださいと出た場合
CD、又は解凍ファイル内の「USBVCOMdriver」
を選択します。

トラブルシューティング 4

4. インストール中に下記の画面が表示される場合があります。
その場合は「このドライバウェアをインストールします」を選択してください。



5. この画面が出たら「閉じる」をクリックして
設定手順 3 から実行してください。



トラブルシューティング 5 (Windows8 以上)

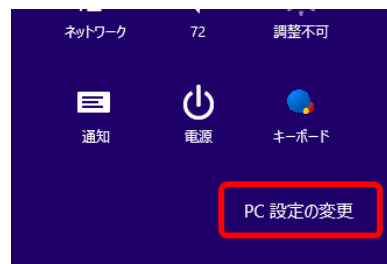
Q6. 「デバイスのドライバーソフトウェアのインストールに関する問題が発生しました」と表示されてインストールが完了しない。

デバイスのドライバー ソフトウェアのインストールに関する問題が発生しました。

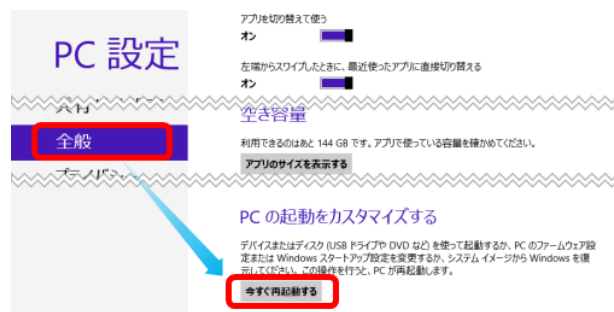
デバイス用のドライバー ソフトウェアが見つかりましたが、このドライバーのインストール時にエラーが発生しました。

A6. Windows8 以降の OS では上記のように
ドライバがインストール出来ない場合が
ございます。
下記のようにしてドライバインストールを
許可してください。

1. [Windows] + [C] キーでチャームを呼び出します。
「PC の設定の変更」を開きます。



2. 「全般」→「PC の起動をカスタマイズする」→「今すぐ再起動する」を選択します。

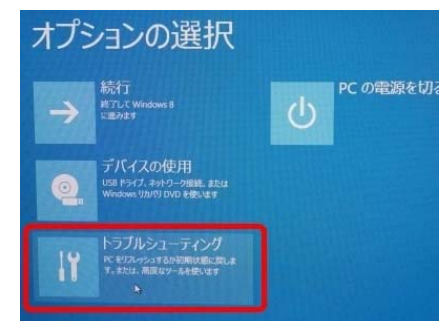


トラブルシューティング 3

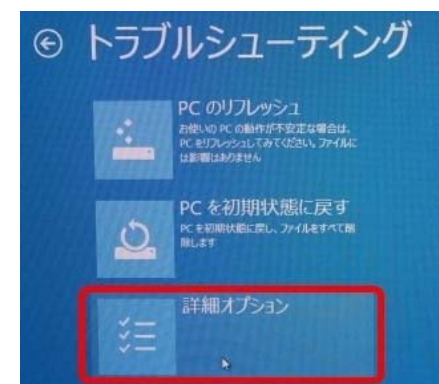
3. タートアップ設定画面になるので「再起動」を実行します。
(PC によっては出てきません。)



4. 「トラブルシューティング」を開きます。

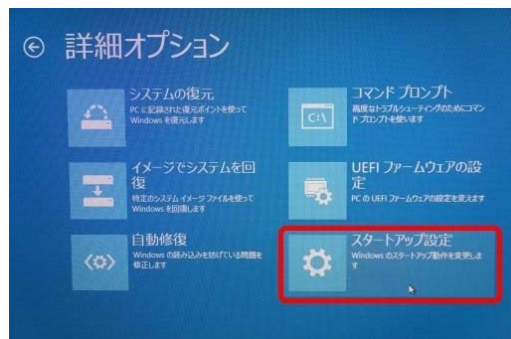


5. 「詳細オプション」を開きます。

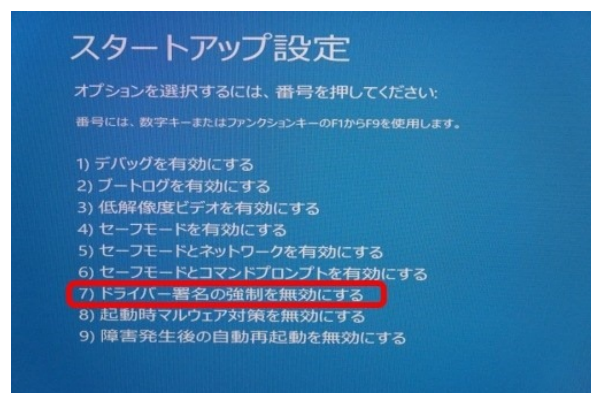


トラブルシューティング 4

6. 「スタートアップ設定」を開きます。
この後、再起動がかかります。



4. 「ドライバ署名の強制を無効にする」を開きます。
又はキーボードの数字・「7」を押します。

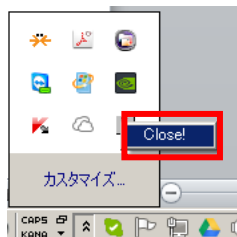


再起動後、設定手順の 1-1 より行うことで
エラー表示が無効になります。

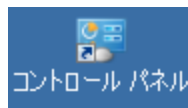
アンインストール

- Q5. ソフトを消したい。
A5. 下記の方法を参考にしてください。

1. Close よりソフトを閉じます。



2. 「スタートメニュー」→「コントロールパネル」
又はデスクトップの「コントロールパネル」を開きます。

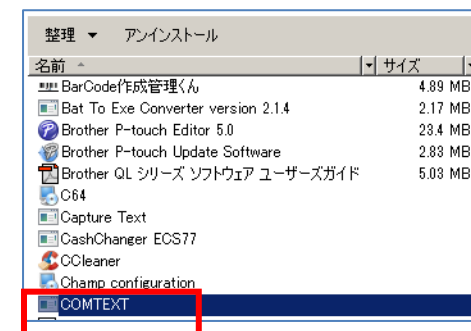


3. 「大きいアイコン」にして「プログラムと機能」を開きま
す。

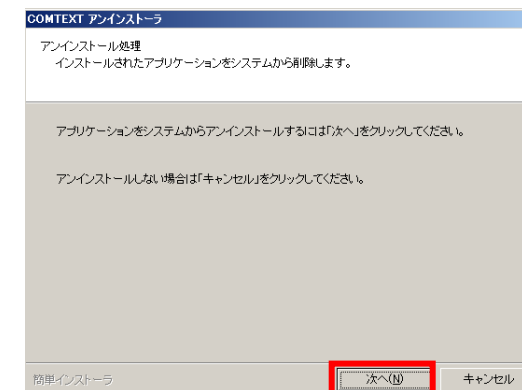


アンインストール 2

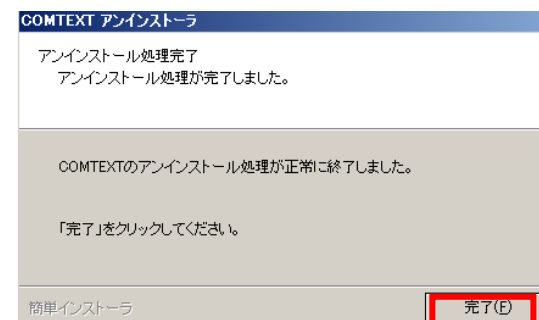
4. 「COMTEXT」をダブルクリックします。



5. 指示に従ってアンインストールを進めます。

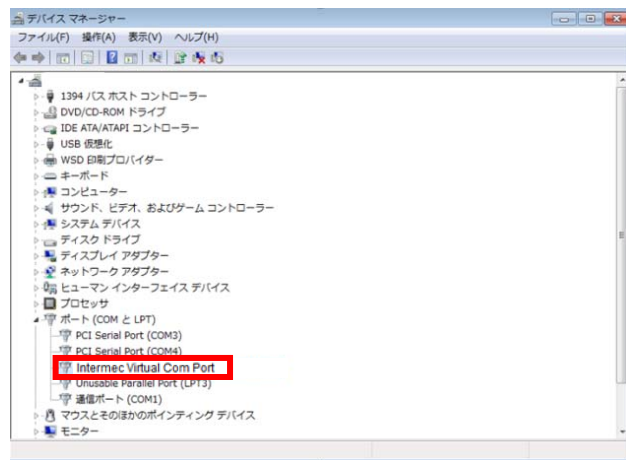


6. 「完了」を押して終了します。

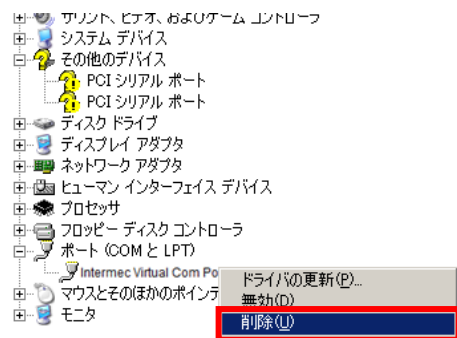


アンインストール 2

4. 設定手順 4 を参考に「Intermec～」を開きます。



5. 右クリックをして削除を選びます。



6. 下記のコードを読み取り設定完了です。



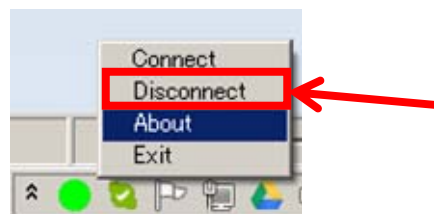
注意：再び使用する際は手順 1 から設定をしてください。

安全な取り外し

1. QRcodeTool の上にマウスカーソルを持っていきます。



2. 2 番目の「Disconnect」を選択します。



3. 赤になって数秒後に MD610 を抜きます。



※取り外しの際は必ずこの手順を行ってください。